

## 地域における口腔保健分野へのニーズの現状把握

主任研究者 中久木康一（東京医科歯科大学 顎顔面外科学分野 医員）

研究協力者 村井真介（東北大学 大学院医学系研究科 社会医学講座 国際保健学分野）

### 研究要旨

災害時における口腔保健活動の体制については、整備が不十分であると言われている。その理由としては、災害における地域住民の口腔保健ニーズが、過小評価されていることが考えられる。本研究では、地域でみられる口腔保健の平時のニーズから、災害時に予測されるニーズを検討した。歯科の疾患は、有病率の高さと外来患者数の多さに特徴がある。自覚症状がないため、災害時の訴えは減少することが予想されるも、避難所生活における生活環境の悪化が口腔衛生状態の悪化を招くと予想される。訴えにならないニーズへの対応も検討する必要があると考えられる。災害発生から復興までの過程においては、災害特有のニーズと平時からみられるニーズの両方に対処しながらも、平時のシステムを復旧させることが課題となる。この過程を円滑に進めるべく、地域では災害時の体制を整備する必要がある。地域住民のニーズに基づき、災害時に共通して必要とされる「機能」を明らかにすることができれば、地域が各々の地域特性に応じて具体的な仕組みを構築する際の有用な判断材料となることが期待される。

### 研究概要

平成 7 年の阪神・淡路大震災、平成 16 年の新潟県中越地震、そして平成 19 年の新潟県中越沖地震の経験から、日本全国で防災への関心が高まっている。震災は人的被害を引き起こすだけでなく、ライフラインの供給、交通、金融、医療など地域社会の様々なシステムにダメージを与え、これらのシステムに機能不全を引き起こすことによって、被災者は、災害から復興までの期間に、地域社会の様々なシステムが十分機能していない中での生活を余儀なくされる。システムの機能不全は、地域住民の口腔の健康を維持・改善することを役割とする地域の口腔保健活動についても同様に起こる。歯科診療を担う歯科診療所だけを見ても、先の阪神・淡路大震災では、被害の多かった地域で 32.8% (445/1355) の歯科診療所が全壊または半壊の被害にあったことが報告されている(兵庫県歯科医師会 1996)。その他にも口腔保健の予防活動に重要な役割を果たす学校や保健所なども被害にあっている。このような状況では、平

時に比べて地域住民の口腔の健康を維持・改善するのが難しくなる。しかしながら、災害時における口腔保健活動の体制については、地域の口腔保健活動の中心的役割を担うことが期待されている保健所と歯科医師会であっても、整備が不十分であると言われている(寺岡加代 and 河原和夫 2006)。この理由のひとつとして、災害における地域住民の口腔保健ニーズが、過小評価されていることが考えられる。震災時のニーズについては、義歯の紛失や不適合による摂食障害(平井敏博 1994)、口腔の清掃ができない(兵庫県歯科医師会 1996)、口内炎、う蝕、歯周病などがみられることが、過去の震災で報告されている一方で、ニーズの規模については、避難所を単位とした事例報告に限られている。地域単位で災害時における口腔保健活動の体制を整備するには、地域でみられるニーズの種類とその規模が見積もられる必要がある。

そこで本研究では、地域でみられる口腔保健の平時のニーズから、災害時に予測されるニーズを検討した。

年齢階級人口に適用して算出した。

## A. 目的

地域でみられる口腔保健の平時のニーズを基にして、災害時に予測されるニーズを検討すること

## B. 方法

### 1. ニーズの比較

ニーズとして、(1) 専門家があらかじめ決められた基準で判断する規範ニーズ (Normative Needs) と (2) 対象者の判断に行動が伴う表現されたニーズ (Expressed Needs) を取り上げた (Bradshaw 1972)。前者には有病数を、後者には外来患者数を用いた。以下の疑問に答えることを目的として、ニーズの比較・検討を行った。

1. 口腔保健分野が扱うニーズには、専門家の判断によるニーズはどれくらいあるのか？ 2. 口腔保健分野が扱うニーズには、地域住民によって表現されたニーズはどれくらいあるのか？ (1) 口腔疾患の診療ニーズは他科疾患の診療ニーズと比べてどれくらいなのか？ (2) 口腔疾患の診療ニーズの中でも大きなニーズはどれか？ 3. 専門家の判断によるニーズに歯科診療はどれだけ対応しているのか？ 4. 都道府県によって専門家の判断によるニーズの規模に違いはあるのか？ 5. 都道府県によって地域住民が表現するニーズの規模に違いはあるのか？

### 2. データ・ソースとデータの算出方法

#### 有病数

全国の有病数は平成 17 年歯科疾患実態調査から得られた全国の年齢階級別有病率と平成 17 年に実施された国勢調査の年齢階級人口を基に算出した。

各都道府県の有病数は、平成 17 年歯科疾患実態調査から得られた全国の年齢階級別有病率を各都道府県の年齢階級人口に適用して算出した。

#### 外来患者数

全国の外来患者数は平成 17 年患者調査から得られた推計患者数を用いた。

各都道府県の外来患者数は、平成 17 年患者調査から得られた全国の年齢階級別受療率を各都道府県の

## C. 結果

### 1. 口腔保健分野が扱うニーズには、専門家の判断によるニーズはどれくらいあるのか？

#### う蝕

う蝕については、全国で 1~15 歳未満の子どもの 23.9%が未処置の乳歯う蝕を有し、5 歳以上の 35.8%が未処置の永久歯う蝕を有するとされている。

#### 歯周病

歯周病については、5 歳以上 (永久歯) の 74.1%が歯肉に何らかの所見を有していると言われている。全国で 5 歳以上 (永久歯) の 29.0%に歯周病のリスク因子である歯石の沈着がみられ、35.0%が歯周ポケットの深さが 4mm 以上の歯を有している。通常歯周ポケットの深さが 4mm 以上になると、病的であるとみなされ、歯周病のガイドラインに沿って治療が行われる。

#### 歯牙欠損

歯牙欠損については、15 歳以上の 7.4%が無歯顎者であり、92.6%は少なくとも 1 本以上の歯を持つ有歯顎者である。歯牙の欠損を伴わない場合と歯牙の欠損を伴う場合の両方を含めて、全国で 15 歳以上の 57.2%が何らかの歯科補綴物を装着している。前者の処置には歯牙の形態修復を行い、後者には欠損した歯牙を補う処置を行う。

歯牙の欠損部を補い口腔機能の改善を図るために、架工義歯、部分床義歯、全部床義歯のいずれかの補綴物を装着する。全国で 15 歳以上の 34.5%が架工義歯を装着しており、24.8%が部分床義歯、14.4%が全部床義歯を装着していると言われている。

#### 口腔清掃および口腔ケア

う蝕や歯周病の原因のひとつとなるプラークを除去する方法としては、ブラッシング (歯みがき) が挙げられる。全国で 1 歳以上の 94.8%が毎日ブラッシング (歯みがき) をしていると言われている。

また、専門的口腔ケアによって要介護者の誤嚥性肺炎が減るとの報告がある (米山武義, 吉田光由 et al. 2001)。2004 年の国民生活基礎調査によると、全国で 40 歳以上の 79.8%が何らかの介護を必要とす

る。同じく 40 歳以上の 16.9%が重度および最重度の介護を要すると言われている。

## 2. 口腔保健分野が扱うニーズには、地域住民によって表現されたニーズはどれくらいあるのか？

### (1) 口腔疾患の診療ニーズは他科疾患の診療ニーズと比べてどれくらいなのか？

図 1 は全国 1 日当たりの外来患者数を上位 6 位まで示している。歯科の外来患者数は、他科の外来患者数と比べて多い。本態性高血圧 (63 万 3900 人) と群を抜いて高い外来患者数を示す。次いで 2 位から 4 位までは、その他の歯及び歯の支持組織の障害 (35 万 2900 人)、歯肉及び歯周疾患 (31 万 7800 人)、う蝕 (31 万 5100 人) と口腔疾患が占める。5 位に脊椎障害 (28 万 100 人) がくるものの、6 位には歯の補てつ (26 万 7500 人) と口腔治療の項目が現れる。

### (2) 口腔疾患の診療ニーズの中でも大きなニーズはどれか？

表 1 に全国で 1 日当たりに歯科診療所を受療する患者数とその構成割合を示す。歯科診療所の外来患者数の 8 割が、う蝕症 (24.2%)、歯の補綴 (20.5%)、慢性歯周炎 (16.5%)、歯根膜炎 (14.5%)、歯髄炎や歯髄の壊疽・変性 (9.7%) の 5 つの疾病カテゴリーで占められている。疼痛を伴うことの多い疾病を含む疾病カテゴリーで歯科診療所の外来患者数全体の 57.6%を占める。

## 3. 専門家の判断によるニーズに歯科診療はどれだけ対応しているのか？

表 2 は、有病者が増えず、平時と同じように有病者が来院した場合に、地域の歯科診療所が全ての有病者を初めて診るのに要する日数を都道府県別、歯科分類別に示している。歯科分類としてう蝕、歯周病、歯の補てつを示した。

平時には、う蝕が 115 日間 (106 127)、歯周病が 454 日間 (424 496)、歯の補てつが 22 日間 (20 23) かかる。

## 4. 都道府県によって専門家の判断によるニーズの規模

### に違いはあるのか？

専門家の判断によるニーズの構成割合は、都道府県間で違いはみられないが、規模は各都道府県の人口によって異なる。

表 3 に各都道府県の有病者数とその内訳を表 4 にこれらの構成比を示す。未処置のう蝕を有する者、4mm 以上の歯周ポケットのある歯牙を有する者、部分床義歯か全部床義歯を使用している者の構成比は、各都道府県で概ね同じ比を示す。未処置のう蝕を有する者の割合は、中央値が 54.7%で 52.6%から 58.0%の範囲をとる。4mm 以上の歯周ポケットのある歯牙を有する者の割合は、中央値が 42.1%で 39.5%から 43.8%の範囲をとる。部分床義歯か全部床義歯を使用している者の割合は、中央値が 3.2%で 2.5%から 3.6%の範囲をとる。

一方で、未処置のう蝕を有する者、4mm 以上の歯周ポケットのある歯牙を有する者、部分床義歯か全部床義歯を使用している者の人数は各都道府県の人口によって大きく異なる。

未処置のう蝕を有する者の人数は、中央値が 655 (千人) で 228 (千人) から 4782 (千人) の範囲をとる。4mm 以上の歯周ポケットのある歯牙を有する者の人数は、中央値が 517 (千人) で 178 (千人) から 3562 (千人) の範囲をとる。部分床義歯か全部床義歯を使用している者の人数は、中央値が 41 (千人) で 14 (千人) から 244 (千人) の範囲をとる。

## 5. 都道府県によって地域住民が表現するニーズの規模に違いはあるのか？

平成 17 年の患者調査によると、歯科診療所の 1 日当たりの受療率は人口 10 万人当たり 1000 人と言われている。これを都道府県別にみると、985 人 (25%点が 903 人、75%点が 1070 人) となる。一方で、都道府県の人口を考慮した場合、推計患者数は、17,305 人 (25%点が 11448 人、75%点が 27751 人) となり、地域間のばらつきが大きくなる。

## D. 考察

### 1. 災害時に予想される「表現されたニーズ」の推移

岡崎らによると、歯科疾患については震災直後から疾患は存在しているものの訴えが少なく、生活の

落ちつきとともに、徐々に訴えが増加すると言われている。とりわけ義歯の紛失や不適合は、生活の安定とともに急激に増加すると予想されている(岡崎好秀 and 下野勉 1995)。期間は明確にされていないが、阪神淡路大震災では、歯科の需要は避難者総数の約2%と予測されていた(兵庫県歯科医師会)。これは平時の、2日分の患者数に相当する。災害時は、災害のショックや生活環境の変化に伴う混乱によって平時に比べて歯科治療の表現されたニーズは減少していると考えられる。

一方で、被災後の生活環境の変化によって、被災者の口腔衛生状態は悪化することが予想される。そのため、災害から復興までの期間においては、訴えのある表現されたニーズのみならず、専門的知見によるニーズへの対応も検討する必要があると考えられる。

## 2. う蝕と歯周病に関するニーズ

口腔の2大疾患と言われるう蝕と歯周病は、罹患初期は自覚症状が現れず、症状が進行するにつれて疼痛などの自覚症状が現れる。また一旦自覚症状が現れるほどに病状が進行すると、治療によって元通りに治癒することは困難で、将来的に口腔機能に何らかの障害をもたらす危険性が高くなる。

う蝕と歯周病は、口腔衛生状態の悪化に伴い症状が進行する。震災による断水や避難所生活など生活環境の変化に伴い、被災住民の口腔衛生状態は悪化すると考えられるため、震災から復興までの期間には、有病者と受療者の増加が予想される。

有病者がこれ以上増えず、全ての有病者が歯科診療所を訪れると仮定した場合、平時の歯科診療体制であっても、歯科診療所で全ての有病者を診るのに、う蝕は115日間(106-127)、歯周病は454日間(424-496)かかる。

実際には、災害から復興までの期間には、口腔衛生状態の悪化に伴い有病者と受療者の増加が予想される一方で、歯科診療体制自体がダメージを受けているため、平時の機能を発揮することができないというニーズに十分応えられない状況となる。また、う蝕と歯周病は、初期に自覚症状がほとんど現れないことから、全ての有病者がニーズを表現する訳ではないことにも注意を払う必要がある。そのため、

とりわけ病状の進行が危惧される被災者については、表現されたニーズだけでなく、専門家の判断によるニーズへの対応も必要と考えられる。

新潟県中越沖地震の際に、震災後1週間以内に口腔のセルフケアが行える環境を整えることができた新潟県では、震災前後で学童の一人平均う歯の発生量と増加率に変化は認められなかったとの報告がある(小松崎明, 末高武彦 et al. 2006)。

## 3. 部分床義歯や全部床義歯に関するニーズ

部分床義歯や全部床義歯を利用している者は、義歯の紛失・不適合によって主に摂食機能が損なわれる。摂食機能が損なわれれば生命の維持に必要な栄養の摂取に支障をきたす。

未明に発生した阪神・淡路大震災では、義歯を紛失した者が多かったために、即時義歯の作製による対応も行われたと言われている(岡崎好秀 and 下野勉 1995)。また、義歯を紛失しなかったとしても、義歯は時間が経つと口腔粘膜の変形や顎骨の形態の変化に伴い適合が悪くなり、摂食時の疼痛をもたらすため、継続的な修正が必要となる。

歯牙の欠損者がこれ以上増えず、全ての歯牙欠損者が歯科診療所を訪れると仮定した場合、平時の歯科診療体制であっても、歯科診療所で全ての歯牙欠損者を診るのに、22日間(20-23)かかる。災害から復興までの期間にどれだけの人が歯牙を欠損するかについては不明だが、平時から部分床義歯あるいは全部床義歯を利用している者には、災害時の義歯の新製、修正などの対応が必要になると考えられる。

## 4. 誤嚥性肺炎に関するニーズ

専門的口腔ケアを行った人は、行わなかった人と比べて、肺炎にかかった人数が統計的に低いと言われている(米山武義, 吉田光由 et al. 2001)。

誤嚥性肺炎の予防という観点から実施される口腔ケアのニーズは、平時においても地域の口腔保健活動で十分対応されているかどうか疑問がある。災害時の対応を整備するととどまらず、平時からニーズに対応できる体制を整備しておく必要があると考えられる。

## 5. ニーズへの対応

地域では、災害時に、どのニーズにどこまで対応するかを判断する必要がある。

このような判断をするには、震災から復興までの期間に現れる地域住民の口腔保健のニーズに応えるための「機能」が明らかにされる必要がある。地域が、災害時のニーズにどこまで対応できるかは、ニーズに対応するための「機能」がどれだけ具現化できるかにかかっていると考えられるからである。例えば、災害時に歯科診療を受けたいというニーズがあったとすれば、災害時の口腔保健活動には歯科診療の「機能」が必要になる。さらに保険証を紛失したが歯科診療を受けたいというニーズがあれば、保険証がなくても歯科診療を受けられる「機能」が必要になる。

次にニーズに基づいて挙げられた種々の「機能」から、災害時に必要な「機能」を同定する必要があるが、これには、地域で活用できるリソースを考慮する必要がある。活用できるリソースの制約によっては、地域で具現化できる「機能」の種類と質に違いが出てくるからである。例えば、歯科診療の「機能」を仕組みとして具現化する際に、平時と同じように矯正治療ができる「機能」を具現化できれば申し分ない。しかしながら、リソースが限られていれば、現在痛みを訴えている患者に対応するための保存治療の「機能」が優先されるかもしれない。あるいはリソースがほとんどない地域では、将来的な受療数の増加を危惧して、治療の「機能」だけでなく、予防の「機能」を優先させるかもしれない。

地域のリソースを有効活用できれば使えるリソースの規模が大きくなる。リソースの規模が大きくなることで、平時と同等の状態まで復旧させることが早期に可能になることも考えられる。

使えるリソースの規模を拓げるには地域に散在しているリソースを機能的に集約する必要があり、そのためには地域の組織連携が不可欠である。現状では、災害時のニーズへの対応は歯科医師会や病院歯科、開業歯科医院などリソースを有する個々の組織に負うところが大きく、これら個々の組織の連携体制が構築されている地域は限られていると考えられる。

災害時の口腔保健活動の体制を仕組みとして具体的に構築する際に、過去に被災した地域がその実体験に基づいて構築した仕組みを参考にすることは

きるが、これらの体制は地域の特性に合うように構築されたものなので、他の地域でそのまま適用するには困難な部分があると思われる。地域には地域に特有の仕組みや組織間の関係があると考えられるからである。例えば、ある地域では病院歯科がなく、地域の歯科診療がすべて歯科診療所で行われているかもしれない。また歯科医師会が全面的に地域の予防活動を推進している地域もあるかもしれない。あるいは歯科診療所、病院歯科、保健所、学校、NPOが連携して地域の口腔保健活動を行っている地域があるかもしれない。このような地域の特性を考慮するならば、地域は各々の特性に応じて体制を構築する必要があると考えられる。

そのため、災害時に共通して必要とされる「機能」を明らかにし、その具体例を提供できれば、地域が各々の地域特性を考慮しながら具体的な仕組みを構築するための有用な判断材料となると期待される。

## E. 結論

災害発生から復興までの過程においては、災害特有のニーズと平時からみられるニーズの両方に対処しながらも、平時のシステムを復旧させることが課題となる。この過程を円滑に進めるべく、地域では災害時の体制を整備する必要がある。

そのためには地域で、地域住民のニーズにどこまで対応するかを検討する必要がある。

地域住民のニーズに基づいて、災害時に共通して必要とされる「機能」を明らかにすることができれば、地域が各々の地域特性に応じて具体的な仕組みを構築する際の有用な判断材料となることが期待される。

今後は、国内および海外の事例を参考に、災害時の口腔保健活動に必要とされる地域レベルの「機能」を明らかにしていく計画である。

## F. 参考文献

- Bradshaw, J. (1972). A taxonomy of social need. Problems and progress in medical care. G. McLachlan, Oxford University Press: 69-82.
- 岡崎好秀 and 下野勉 (1995). 被災地における歯科医療の問題と提言 (1). 歯界展望. **86**: 1209-1220.

岡崎好秀 and 下野勉 (1995). 被災地における歯科医療の問題と提言 (2). 歯界展望. **86**: 1343-1349.

寺岡加代 and 河原和夫 (2006). 大規模災害時における歯科保健医療体制に関する実態調査. 厚生労働省科学研究費補助金 (健康科学総合研究事業) 分担研究報告書.

小松崎明, 末高武彦, et al. (2006). 中越地震被災地域における地震前後の小・中学校歯科健康診断結果の比較. 新潟県中越地震歯科医療支援活動報告書, 日本歯科大学新潟生命歯学部: 162-165.

兵庫県歯科医師会 (1996). 大震災と歯科医療. 神戸市, 兵庫県歯科医師会.

平井敏博 (1994). "北海道南西沖地震被災者への歯科救援活動." 日本歯科医師会雑誌 **47**(7): 47-49.

米山武義, 吉田光由, et al. (2001). "要介護高齢者に対する口腔衛生の誤嚥性肺炎予防効果に関する研究." 日本歯科医学会誌(20): 58~68.

## 参考資料

図 1. 全国の外来患者数の内訳（千人/日）

表 1. 歯科診療所における平時の患者数とその構成割合

表 2. 全歯科診療所が地域の全ての有病者を初めて診るために必要な稼働日数

表 3-1. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数（人/日）

表 3-2. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数（人/日）

表 3-3. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数（人/日）

表 3-4. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数（人/日）

表 3-5. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数（人/日）

表 4-1. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

表 4-2. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

表 4-3. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

表 4-4. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

表 4-5. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

図1. 全国の外来患者数の内訳(千人/日)

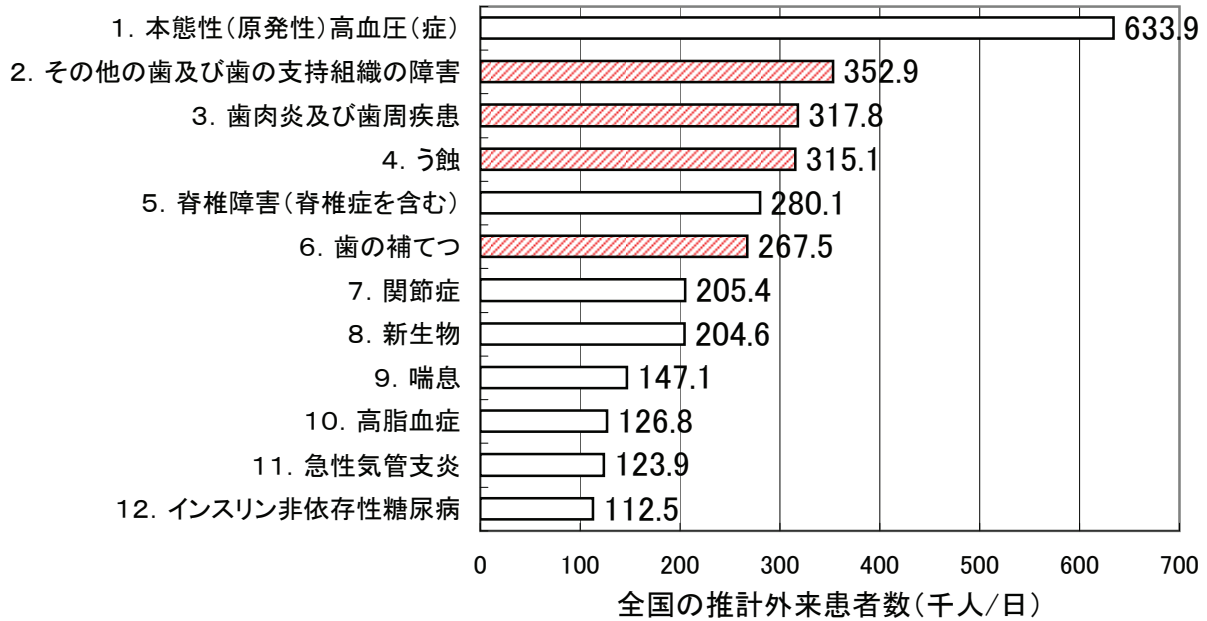


表1. 歯科診療所における平時の患者数とその構成割合

歯科分類	推計患者数(千人)	構成割合
う蝕症(C)	308.5	24.2%
歯の補てつ	261.4	20.5%
慢性歯周炎(P1、P2)	211.0	16.5%
歯根膜炎(Per)	185.0	14.5%
歯髓炎(Pul)、歯髓の壊疽・変性(Pu壊疽)	123.7	9.7%
慢性歯周炎(P3)	42.8	3.4%
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	40.6	3.2%
歯科矯正	24.3	1.9%
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	21.8	1.7%
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	15.2	1.2%
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	8.5	0.7%
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	8.5	0.7%
外因による損傷	3.1	0.2%
その他の歯及び歯の支持組織の障害	15.8	1.2%
その他の顎及び口腔の疾患	6.9	0.5%
総数	1277.2	100.0%

平成17年患者調査より



表2. 全歯科診療所が地域の全ての有病者を初めて診るために必要な稼働日数

都道府県	稼働日数(日) <sup>*1</sup>			稼働日数(日) <sup>*1</sup>			
	う蝕 <sup>*2</sup>	歯周病 <sup>*3</sup>	歯の補てつ <sup>*4</sup>	う蝕 <sup>*2</sup>	歯周病 <sup>*3</sup>	歯の補てつ <sup>*4</sup>	
北海道	94	413	22	中央値	115	454	22
青森	121	497	24	25%点	106	424	20
岩手	128	547	27	75%点	127	496	23
宮城	126	542	27				
秋田	96	435	22				
山形	120	475	22				
福島	134	529	25				
茨城	97	381	19				
栃木	109	445	21				
群馬	146	511	24				
埼玉	115	458	22				
千葉	106	482	23				
東京	108	397	17				
神奈川	123	454	21				
新潟	130	512	24				
富山	126	505	26				
石川	134	494	23				
福井	139	508	23				
山梨	161	584	25				
長野	110	415	19				
岐阜	105	398	19				
静岡	101	426	21				
愛知	113	444	21				
三重	130	444	20				
滋賀	106	455	22				
京都	115	426	19				
大阪	147	513	23				
兵庫	104	460	22				
奈良	122	473	22				
和歌山	106	427	20				
鳥取	109	457	22				
島根	149	595	27				
岡山	99	371	18				
広島	115	409	20				
山口	92	379	19				
徳島	106	417	20				
香川	115	491	22				
愛媛	117	464	22				
高知	129	495	23				
福岡	100	374	17				
佐賀	103	423	20				
長崎	126	424	19				
熊本	106	392	18				
大分	120	434	20				
宮崎	113	426	20				
鹿児島	115	445	22				
沖縄	145	689	33				

\*1: 有病数を受療数で割った値を示す。有病数が増えなかったとして、歯科診療所が全ての有病者を診るのにかかる日数を示す。

\*2: う蝕には平成17年患者調査の歯科分類にみられるう蝕症(C)と歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)を含めた。

\*3: 歯周病には平成17年患者調査の歯科分類にみられる歯根膜炎(Per)、歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)、歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)、慢性歯周炎(P1、P2)、慢性歯周炎(P3)、智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患を含めた。

\*4: 歯の補てつは、平成17年患者調査の歯科分類にみられる歯の補てつとした。

表3-1. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数(人/日)

歯科分類 <sup>*1</sup>	歯科診療所の外来患者数(人/日) <sup>*2</sup>									
	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
う蝕症(C)	16139	3225	2939	5072	3242	2709	4226	8229	5040	3657
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	6505	1273	1098	1976	1218	1032	1660	3446	1956	1584
歯根膜炎(Per)	9458	1918	1716	2865	1857	1678	2490	4967	2941	2446
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	430	90	77	132	84	76	118	234	134	115
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	829	151	155	281	179	130	198	410	260	147
慢性歯周炎(P1、P2)	10554	2196	1926	3109	2057	1940	2829	5667	3303	2930
慢性歯周炎(P3)	1963	457	403	598	428	425	598	1128	673	616
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	2098	417	353	642	391	336	552	1140	631	532
その他の歯及び歯の支持組織の障害	761	161	148	236	159	144	212	405	246	200
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	869	232	203	295	221	232	328	549	324	306
その他の顎及び口腔の疾患	345	72	62	107	69	60	95	194	109	90
歯の補てつ	11635	2752	2405	3653	2593	2587	3703	6799	3990	3652
歯科矯正	1357	232	232	460	285	184	300	703	412	220
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	445	93	84	139	90	79	123	221	141	102
外因による損傷	158	34	33	54	38	28	46	79	55	28

\*1: 平成17年患者調査の歯科分類

\*2: 平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した

表3-2. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数(人/日)

歯科分類 <sup>*1</sup>	歯科診療所の外来患者数(人/日) <sup>*2</sup>									
	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
う蝕症(C)	16933	16046	31256	19294	5038	2329	2355	1576	1467	5361
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	6663	5846	13157	8120	1993	986	958	642	585	2116
歯根膜炎(Per)	9841	8539	19960	11989	3096	1458	1472	995	923	3294
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	461	387	925	568	143	69	69	47	43	158
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	884	978	1464	922	253	102	114	72	64	235
慢性歯周炎(P1、P2)	11157	9174	22856	13920	3549	1689	1715	1168	1074	3839
慢性歯周炎(P3)	2247	1795	4570	2798	759	328	369	252	238	835
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	2163	1836	4410	2692	652	330	319	214	197	712
その他の歯及び歯の支持組織の障害	806	715	1647	969	261	117	124	84	80	281
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	1048	867	2523	1376	415	156	193	138	144	485
その他の顎及び口腔の疾患	364	320	743	452	116	53	56	38	35	123
歯の補てつ	13286	10908	28726	16881	4685	1961	2225	1555	1517	5264
歯科矯正	1434	1638	2281	1527	400	153	181	112	91	331
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	468	440	870	526	141	66	65	45	44	160
外因による損傷	182	208	255	174	52	19	23	15	15	55

\*1: 平成17年患者調査の歯科分類

\*2: 平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した

表3-3. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数(人/日)

歯科分類 <sup>*1</sup>	歯科診療所の外来患者数(人/日) <sup>*2</sup>									
	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
う蝕症(C)	5363	10185	17568	3774	3575	6062	15796	14966	3190	2663
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	2198	4033	6717	1636	1361	2419	6774	5402	1263	1071
歯根膜炎(Per)	3363	5859	10213	2513	1969	3756	10175	8076	1936	1633
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	157	272	474	122	90	177	495	373	90	76
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	256	544	909	156	208	299	708	806	161	125
慢性歯周炎(P1、P2)	3891	6490	11567	3039	2121	4383	12028	8830	2225	1867
慢性歯周炎(P3)	810	1274	2340	665	402	950	2583	1756	466	382
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	725	1318	2177	556	436	802	2286	1744	414	354
その他の歯及び歯の支持組織の障害	277	484	842	207	163	316	833	689	162	136
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	417	639	1086	346	201	498	1405	939	241	208
その他の顎及び口腔の疾患	124	223	359	95	74	140	395	294	72	60
歯の補てつ	4905	7793	13730	3994	2491	5735	15951	10998	2826	2382
歯科矯正	403	899	1366	244	346	464	1167	1206	254	190
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	148	280	499	104	98	169	433	445	89	76
外因による損傷	49	109	187	31	42	61	138	189	33	26

\*1: 平成17年患者調査の歯科分類

\*2: 平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した

表3-4. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数(人/日)

歯科分類 <sup>*1</sup>	歯科診療所の外来患者数(人/日) <sup>*2</sup>									
	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡
う蝕症(C)	1500	1331	5242	6607	4341	2042	2468	3380	1640	13772
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	588	518	2227	2876	1725	841	891	1364	654	5425
歯根膜炎(Per)	874	811	3324	4373	2615	1269	1367	2088	1043	8367
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	40	38	157	208	124	59	64	97	48	392
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	81	70	230	260	204	91	139	156	78	670
慢性歯周炎(P1、P2)	973	924	3872	5238	2984	1478	1508	2402	1223	9617
慢性歯周炎(P3)	199	203	789	1071	620	307	326	505	271	2047
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	192	172	742	965	574	278	290	450	217	1803
その他の歯及び歯の支持組織の障害	74	71	270	353	217	106	120	175	90	713
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	105	121	384	519	333	158	189	279	147	1143
その他の顎及び口腔の疾患	34	31	124	160	96	48	52	79	39	315
歯の補てつ	1227	1289	4696	6356	3827	1860	2062	3145	1642	12745
歯科矯正	136	112	361	388	303	144	216	243	119	1017
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	41	37	146	187	126	58	71	97	46	395
外因による損傷	17	15	44	49	43	20	32	33	16	144

\*1:平成17年患者調査の歯科分類

\*2:平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した

表3-5. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数(人/日)

歯科分類 <sup>*1</sup>	歯科診療所の外来患者数(人/日) <sup>*2</sup>						
	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
う蝕症(C)	2267	3112	4698	2718	2756	4022	2703
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	897	1319	1888	1114	1119	1648	938
歯根膜炎(Per)	1315	2102	2942	1758	1726	2535	1285
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	62	102	139	84	81	117	57
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	111	123	210	115	128	175	184
慢性歯周炎(P1、P2)	1476	2553	3459	2082	2012	2962	1256
慢性歯周炎(P3)	294	585	755	459	437	619	233
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	297	448	630	378	372	542	289
その他の歯及び歯の支持組織の障害	110	176	249	149	145	210	111
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	164	325	410	251	230	302	118
その他の顎及び口腔の疾患	51	79	110	65	65	93	52
歯の補てつ	1873	3567	4616	2795	2635	3656	1470
歯科矯正	176	180	312	160	199	261	324
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	66	89	135	79	77	115	73
外因による損傷	25	26	47	24	27	37	40

\*1:平成17年患者調査の歯科分類

\*2:平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した

表4-1. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

歯科分類*1	歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合*2									
	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
う蝕症(C)	25.4%	24.2%	24.8%	25.9%	25.1%	23.3%	24.2%	24.1%	24.9%	22.0%
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	10.2%	9.6%	9.3%	10.1%	9.4%	8.9%	9.5%	10.1%	9.7%	9.5%
歯根膜炎(Per)	14.9%	14.4%	14.5%	14.6%	14.4%	14.4%	14.2%	14.5%	14.6%	14.7%
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	1.3%	1.1%	1.3%	1.4%	1.4%	1.1%	1.1%	1.2%	1.3%	0.9%
慢性歯周炎(P1、P2)	16.6%	16.5%	16.3%	15.8%	15.9%	16.7%	16.2%	16.6%	16.3%	17.6%
慢性歯周炎(P3)	3.1%	3.4%	3.4%	3.0%	3.3%	3.6%	3.4%	3.3%	3.3%	3.7%
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	3.3%	3.1%	3.0%	3.3%	3.0%	2.9%	3.2%	3.3%	3.1%	3.2%
その他の歯及び歯の支持組織の障害	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	1.4%	1.7%	1.7%	1.5%	1.7%	2.0%	1.9%	1.6%	1.6%	1.8%
その他の顎及び口腔の疾患	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%
歯の補てつ	18.3%	20.7%	20.3%	18.6%	20.1%	22.2%	21.2%	19.9%	19.7%	22.0%
歯科矯正	2.1%	1.7%	2.0%	2.3%	2.2%	1.6%	1.7%	2.1%	2.0%	1.3%
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	0.6%
外因による損傷	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%
外来患者数の合計人数(人/日)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

\*1: 平成17年患者調査の歯科分類

\*2: 平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した

表4-2. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

歯科分類*1	歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合*2									
	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
う蝕症(C)	24.9%	26.9%	23.0%	23.5%	23.4%	23.7%	23.0%	22.7%	22.5%	23.1%
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	9.8%	9.8%	9.7%	9.9%	9.2%	10.0%	9.4%	9.2%	9.0%	9.1%
歯根膜炎(Per)	14.5%	14.3%	14.7%	14.6%	14.4%	14.9%	14.4%	14.3%	14.2%	14.2%
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	1.3%	1.6%	1.1%	1.1%	1.2%	1.0%	1.1%	1.0%	1.0%	1.0%
慢性歯周炎(P1、P2)	16.4%	15.4%	16.8%	16.9%	16.5%	17.2%	16.8%	16.8%	16.5%	16.5%
慢性歯周炎(P3)	3.3%	3.0%	3.4%	3.4%	3.5%	3.3%	3.6%	3.6%	3.7%	3.6%
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	3.2%	3.1%	3.3%	3.3%	3.0%	3.4%	3.1%	3.1%	3.0%	3.1%
その他の歯及び歯の支持組織の障害	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	1.5%	1.5%	1.9%	1.7%	1.9%	1.6%	1.9%	2.0%	2.2%	2.1%
その他の顎及び口腔の疾患	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%
歯の補てつ	19.6%	18.3%	21.2%	20.5%	21.7%	20.0%	21.7%	22.4%	23.3%	22.6%
歯科矯正	2.1%	2.7%	1.7%	1.9%	1.9%	1.6%	1.8%	1.6%	1.4%	1.4%
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%
外因による損傷	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
外来患者数の合計人数(人/日)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

\*1: 平成17年患者調査の歯科分類

\*2: 平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した

表4-3. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

歯科分類*1	歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合*2									
	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
う蝕症(C)	23.2%	25.2%	25.1%	21.6%	26.3%	23.1%	22.2%	26.4%	23.8%	23.7%
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	9.5%	10.0%	9.6%	9.4%	10.0%	9.2%	9.5%	9.5%	9.4%	9.5%
歯根膜炎(Per)	14.6%	14.5%	14.6%	14.4%	14.5%	14.3%	14.3%	14.2%	14.4%	14.5%
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	1.1%	1.3%	1.3%	0.9%	1.5%	1.1%	1.0%	1.4%	1.2%	1.1%
慢性歯周炎(P1、P2)	16.9%	16.1%	16.5%	17.4%	15.6%	16.7%	16.9%	15.6%	16.6%	16.6%
慢性歯周炎(P3)	3.5%	3.2%	3.3%	3.8%	3.0%	3.6%	3.6%	3.1%	3.5%	3.4%
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	3.1%	3.3%	3.1%	3.2%	3.2%	3.1%	3.2%	3.1%	3.1%	3.1%
その他の歯及び歯の支持組織の障害	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	1.8%	1.6%	1.6%	2.0%	1.5%	1.9%	2.0%	1.7%	1.8%	1.9%
その他の顎及び口腔の疾患	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%
歯の補てつ	21.2%	19.3%	19.6%	22.8%	18.3%	21.9%	22.4%	19.4%	21.1%	21.2%
歯科矯正	1.7%	2.2%	2.0%	1.4%	2.5%	1.8%	1.6%	2.1%	1.9%	1.7%
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	0.6%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%	0.8%	0.7%	0.7%
外因による損傷	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%
外来患者数の合計人数(人/日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*1: 平成17年患者調査の歯科分類

\*2: 平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した

表4-4. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

歯科分類 <sup>*1</sup>	歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合 <sup>*2</sup>									
	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡
う蝕症(C)	24.7%	23.2%	23.2%	22.3%	23.9%	23.3%	25.2%	23.3%	22.5%	23.5%
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	9.7%	9.0%	9.9%	9.7%	9.5%	9.6%	9.1%	9.4%	9.0%	9.3%
歯根膜炎(Per)	14.4%	14.1%	14.7%	14.8%	14.4%	14.5%	14.0%	14.4%	14.3%	14.3%
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	1.3%	1.2%	1.0%	0.9%	1.1%	1.0%	1.4%	1.1%	1.1%	1.1%
慢性歯周炎(P1、P2)	16.0%	16.1%	17.1%	17.7%	16.5%	16.9%	15.4%	16.6%	16.8%	16.4%
慢性歯周炎(P3)	3.3%	3.5%	3.5%	3.6%	3.4%	3.5%	3.3%	3.5%	3.7%	3.5%
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	3.2%	3.0%	3.3%	3.3%	3.2%	3.2%	3.0%	3.1%	3.0%	3.1%
その他の歯及び歯の支持組織の障害	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	1.7%	2.1%	1.7%	1.8%	1.8%	1.8%	1.9%	1.9%	2.0%	2.0%
その他の顎及び口腔の疾患	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%
歯の補てつ	20.2%	22.4%	20.8%	21.5%	21.1%	21.2%	21.1%	21.7%	22.6%	21.8%
歯科矯正	2.2%	1.9%	1.6%	1.3%	1.7%	1.6%	2.2%	1.7%	1.6%	1.7%
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%
外因による損傷	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
外来患者数の合計人数(人/日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*1: 平成17年患者調査の歯科分類

\*2: 平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した

表4-5. 歯科分類別 都道府県別 歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合

歯科分類 <sup>*1</sup>	歯科診療所の外来患者数の歯科分類別構成割合 <sup>*2</sup>						
	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
う蝕症(C)	24.7%	21.0%	22.8%	22.2%	22.9%	23.3%	29.6%
歯髄炎(Pul)、歯髄の壊疽・変性(Pu壊疽)	9.8%	8.9%	9.2%	9.1%	9.3%	9.5%	10.3%
歯根膜炎(Per)	14.3%	14.2%	14.3%	14.4%	14.4%	14.7%	14.1%
歯槽(根)膿瘍(AA)、歯根嚢胞(WZ)	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.6%
歯肉炎(G、単G、増G、潰G、壊G、肥G)	1.2%	0.8%	1.0%	0.9%	1.1%	1.0%	2.0%
慢性歯周炎(P1、P2)	16.1%	17.3%	16.8%	17.0%	16.8%	17.1%	13.8%
慢性歯周炎(P3)	3.2%	4.0%	3.7%	3.8%	3.6%	3.6%	2.5%
智歯周囲炎(Perico)、歯肉膿瘍(GA)、その他の歯周疾患	3.2%	3.0%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.2%
その他の歯及び歯の支持組織の障害	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%
じよく瘡性潰瘍(Dul)、口内炎等	1.8%	2.2%	2.0%	2.1%	1.9%	1.7%	1.3%
その他の顎及び口腔の疾患	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%
歯の補てつ	20.4%	24.1%	22.4%	22.8%	21.9%	21.1%	16.1%
歯科矯正	1.9%	1.2%	1.5%	1.3%	1.7%	1.5%	3.5%
検査・健康診断(査)及びその他の保健サービス	0.7%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	0.8%
外因による損傷	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%
外来患者数の合計人数(人/日)	1	1	1	0	1	1	1

\*1: 平成17年患者調査の歯科分類

\*2: 平成17年患者調査のデータと平成17年国勢調査のデータより算出した